

18th Asian Games Jakarta Palembang 2018(インドネシア/ジャカルタ)

大会名	18th Asian Games Jakarta Palembang 2018	日付	2018年8月25日
場所	GBK Hockey Field	天候	晴れ
試合	第3戦(予選リーグ)	通算結果	3戦 3勝(勝点9)

Country 日本 JAPAN	4	RESULT <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 15%;">1P</td><td style="width: 10%; text-align: center;">2</td><td style="width: 10%; text-align: center;">-</td><td style="width: 10%; text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>2P</td><td style="text-align: center;">2</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> <tr><td>3P</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>4P</td><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: center;">-</td><td style="text-align: center;">0</td></tr> </table>	1P	2	-	1	2P	2	-	0	3P	0	-	1	4P	0	-	0	2	Country 中国 CHINA
1P	2	-	1																	
2P	2	-	0																	
3P	0	-	1																	
4P	0	-	0																	

Start	No.	Name	備考
✓	1	景山 恵	GK
✓	2	内藤 夏紀	C
	3	大田 昭子	
✓	4	錦織 えみ	
✓	5	及川 菜	
	6	星 希巳加	
✓	7	小野 真由美	
✓	8	真野 由佳梨	
✓	9	加藤 彰子	
✓	10	永井 葉月	
	11	清水 美並	
✓	12	永井 友理	
	13	山田 明季	
	14	瀬川 真帆	
	15	石橋 唯今	
✓	16	狩野 真美	
✓	17	河村 元美	
	18	田中 秋桜	GK

Start	No.	Name	備考
✓	2	GU Bingfeng	
✓	3	SONG Xiaoming	
✓	5	LI Jiaqi	
✓	7	CUI Qiuxia	C
	8	ZHOU Yu	
✓	10	PENG Yang	
	11	LIANG Meiyu	
✓	13	LI Hong	
	15	ZHANG jinrong	
✓	16	OU Zixia	
	19	ZHANG Xiaoxue	
✓	20	HE Jiangxin	
	22	CHEN Yi	
	23	DE Jiaojiao	GK
✓	25	XI Xiayun	
✓	29	CHEN Yi	
	30	DAN Wen	
✓	32	YE Jiao	GK

ヘッドコーチ	ヘッドコーチ	Farry, Anthony	監督	Mulders, Jamilion
UMPIRE	UMPIRE	HUDSON, Kelly	UMPIRE	KIM Yoonsong

Country	Min	Name	Action	Score
JPN	4	清水 美並	FG	1-0
JPN	8	清水 美並	PC	2-0
CHN	12	GU, Bingfeng	PC	2-1
JPN	19	及川 菜	PC	3-1
JPN	26	加藤 彰子	FG	4-1

Country	Min	Name	Action	Score

「さくらジャパン」のアジア大会3戦目は、世界ランキング8位、前回大会銀メダルの中国。この試合で勝利すれば事実上プール2位以内が確定し、準決勝進出がかかる大一番のゲームでもある。

日本は試合開始から攻め上がり、3分、#17河村がGKをかわして「決まった!」と思われるプッシュシュートをするがゴールラインギリギリで中国選手にボールカットされる。しかし、その直後の4分、#7小野の中央からのロングボールを中国選手のレシーブミス、そのボールを#14瀬川が拾い、ゴール前で待ち構えていた#10清水にパスしタッチシュートを決める。逆に、6分に中国にシュートチャンスを創られるがそれをなんとか凌ぐ。8分、日本はこの試合初めてのPCを取得し、#5及川がスィープで#10清水に合わせリバースタッチシュートで綺麗に決め、2-0で中国を引き離す。しかし、12分、中国に立て続け2本のPCを取得され、その2本目のフリックシュートでGKの左下に決められる。

第2Qに入って17分、中国にPCを取得されるが、シュートはゴールを外れる。逆に19分、日本が中国陣内に攻め込みPCを取得する。そのチャンスから及川がプッシュシュートを決め3-1と再び2点差リードに戻す。さらに26分右サイドからの早いリスタートで#5及川がリバースでゴール前にパスを通し左ポストに走り込んだ#9加藤がダイレクトでゴールネットを揺らす見事なシュートを決める。4-1でのリードで前半を折り返す。

第3Qに入ると日本は中国の反撃を受ける。32分、PCを取得され、またもフリックシュートでGK左下に決められ4-2と追い上げられる。動きが硬くなった日本はまた34分にシュート打たれるが#1景山がファインセーブ。流れを取り戻そうとする日本は40分に#10永井葉月がシュートしそのリバウンドボールを#12永井友理がシュートするが決めきれない。

4Qは日本が落ち着きを取り戻し48分に#13山田そして#17河村が決定的なシュートを放つが中国の必死の守備に阻まれる。その後も日本は何度も中国のゴール前まで攻め込みシュートチャンスを創るものの追加点を奪うことができない。中国も必死の猛攻をみせるが日本は安定したゲーム運びを披露し4-2で勝利する。

これによって日本は3戦で勝ち点9となり、マレーシアとのプール最終戦を残し準決勝進出を決めた。27日に、今年5月に行われたアジアチャンピオンズトロフィーで敗戦した、そして今大会で中国と2-2で引き分けたマレーシアと対戦することとなる。油断することなく念入りな準備をしてマレーシア戦に臨み、勝利してプール1位通過を決めたい。

日本	7	PC数	5	
	10	シュート数	3	中国